

Step 3

まちづくりと 生涯学習

生涯学習に参加するには
では、どうしたら生涯学習ができるでしょうか。
自治会や公民館活動、隣近所の付き合いなど、人の集まる場を大いに利用しましょう。



生涯学習についての
問い合わせは
教育委員会社会教育課
(☎373-3171)へ

住みよいまちとは
だれもが住みよいまちに暮らしたいと願っています。でも、住みよいまちをつくるのはただれでしょう。
そこに住む市民一人ひとりにほかなりません。まちづくりの主役は皆さんなのです。
生涯学習は、今、生きているんだなあと実感させられる魅力を持っていきます。と同時に、自分で考え、判断する姿勢も要求されます。みんなが活動することにより、考え方の幅も広がって頭も柔らかくなってきます。
つまり、柔軟で、積極性のある市民を育てるのが生涯学習です。こうした市民のつくるまちは、何か事があれば、それに対処する動きがあらわらこちらに生まれて、みんなの力で問題を解決していくまちです。そういうまちは、はつらつとして、住みよいまちに違いありません。

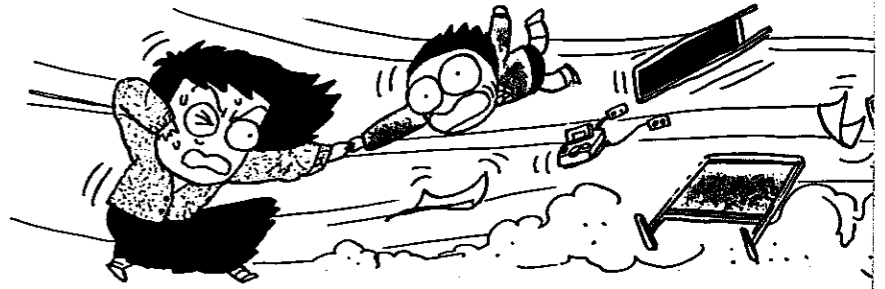
趣味を持ちたい人は、公民館や社会教育課へ電話を掛けて、「趣味の教室やサークルにはどんなものがありますか」と聞いてみましょう。あるいは、「こんなことがやりたい」と会う人ごとに話してみましよう。きっと同好の士が現れるはずで、地域や仕事関係の活動をした人は、自治会の集まりなどで「この点が不満。何か良い方法はないだろうか」と問いかけてみましょう。同じ考えの人がいて、新たな活動がスタートするでしょう。
いずれにしても、気軽に、しかし、はっきりと自分の思いや考えを言うことが必要です。
生涯学習はこれが生涯学習だというような枠組みはありません。今、自分に関心のある事柄を、自分一人ではなく、みんなと実行していくのが肝心なことです。解放的で、つきあいの豊かな、そして実り多い人生があるのを待っています。

Step 2

なぜ生涯学習が必要？

時代は急ピッチで 変化しています

子どもがファミコンに熱中するなんて、十年前、だれに予想ができたでしょうか。
新しい物ができるたびに生活は少しずつ変わってきました。テレビ、洗濯機、冷蔵庫に大喜びしたのはもう遠い昔のこと。そろばんは電卓に代わり、家族のだんらんにはビデオが入り込み、ワープロで書かれた年賀状の枚数は年々増える一方。ファクシミリの普及で、手紙を書くことがなくなる日も遠くないかもしれません。
時代の変化はいつそう激しくなっています。国際化、高齢化、技術の高度化：こうした時代の波は、確実に私たちの家庭にも押し寄せてくるのです。
機械が扱えないと生活できないくらい不自由になる日が来るかもしれません。国際化が進んで、白根市に来る観光客の半分以上が外国人となり、外国語ができないと仕事ができなくなるかもしれません。
そうかといって、ただ心配しているだけではどうしようもありません。
たいせつなのは、自分がしっかりすること。いろいろな人と



の出会いの機会を増やしたり、ためになる講演会に出かけたり本を読んだりすること。つまり私たちが生涯学習と呼ぶ、自らを高めるための触れ合いや、助け合いや、学び合いを実践すること——こうした努力の積み重ねで、社会の動きを知り、自分なりの判断ができるようになるのです。
学習は時代の波を乗り切る原動力です。そして、このような生涯学習者が育ち、さらに育てることが、白根市の発展にも欠かせないことなのです。

こういう社会状況では、各自が自身を見つめながら生きがい創造することが求められる。このために自分自身を豊かにする生涯学習が、大きなかぎを握る時代になっている。
学習というと、書物や授業など、教え導いてもらうことに限定して考えがちだが、生涯にわたってよりよい人生を送るための学習となると、もっと幅広い捕らえ方が必要である。つまり仕事や趣味を通じて楽しく学ぶこと、人間関係を結ぶことも学習の一つである。自分で高いところに自己を到達させようとするために学習を続けることが、その人のライフ・スタイルになることが究極のねらいである。
これを広く定着させるには、お互いに認め合い尊重される地域社会が不可欠となる。個人としても、学校中心の学習から、自分自身を豊かにするための学習活動を、全生涯を通じてやることが望まれる。
学習は、時・場所を選ばず、意思さえあれば可能になる。与えられるのを待つのではなく、自らの意思によって獲得していくものである。したがって、その受け皿となる組織の確立や施設の整備が求められる。

本市の目指す人間像は自立した人生を送ることのできる人間である。
今までのような競争社会で形成された人間像は、一人ひとりはずなおい人間であるが、耐性に乏しく、なかなか自立できない。また、高齢化とともに急速に衰える。しかしこれからの自立した人間は、一人ひとりが個性豊かで、耐性に富み、早くから自立でき、長持ちする。
自立した人生のための方策として次の三点が考えられる。
一、市民憲章でうたわれている内容の実現
二、生涯の各時期での学習をじゅうぶんにする
三、なんらかの形で地域の活動に参加するなどの意欲付け
次に本市の目指す生涯学習を通じたまちづくりの理想像は次のとおりである。
一、個性豊かで、自立した人の多くいるまち
二、地域の教育力を高める人の多くいるまち
三、明るくたくましく生きる、健康な人の多くいるまち
以上三つの理想像の実現を図るために、未来を見つめ、「集い、学び、高めあう」生涯学習を目指すものである。
さらに市民憲章の具現化を目指し、各項目ごとの重点と課題を次のように設定した。

市民憲章	美しい自然のあるまち	たがいに助け合う、しあわせなまち	文化とうるおいのあるまち	健康で働く豊かなまち	きまりを守り、明るく楽しいまち	
重点	美しい川、公園、田園、果樹などをたいせつにしよう。	互いに助け合って、地域の子どもを育てよう。	地域の文化遺産を守り育てよう。	健康で、生きがいを持って働こう。	他人に迷惑をかけず、譲り合いの心を育てよう。	
課題	人づくり	・美しいと感じられる心 ・自然との触れ合いを深める	・思いやる心 ・ほかの人へ気軽に声をかける	・理想を実現しようとする心 ・教養を高め、豊かな心を育てる	・ゆとりを持ち、譲り合う心 ・進んできまりを守る	
	家庭づくり	・自然に触れ合う家庭 ・ゴミの始末を工夫する家庭	・個々の役割がしっかりとっている家庭 ・お互いにありがたうと言える家庭	・健康づくりをする家庭 ・働けることを喜び、分かち合える家庭	・明るく話し合える家庭 ・物をたいせつにする家庭	
	地域づくり	・地域の自然を見つめ、守り育てる活動 ・地域で自然に触れ合う活動	・意見を出し合い、協力し合う地域活動 ・みんなで子どもを育てる地域活動	・祖先や家族の歴史を語り合える家庭 ・個々の将来を語り合える家庭	・成人病予防に取り組む地域活動 ・スポーツ活動に取り組む地域活動	・きまりを守る楽しい地域活動 ・互いに尊重し合う地域活動
	まちづくり	・自然を見つめ、守り育てるまち ・だれでも住みたくする、環境の整ったまち	・ふるさとづくりに汗と力を出し合うまち ・みんなでボランティアの輪を広げるまち	・互いに学び合うまち ・世界につながる心を育てるまち	・健康づくりをみんなで作るまち ・生きがいを持って働き、生産を高めるまち	・公共のものをたいせつにするまち ・笑顔とあいさつの明るいまち